

研究課題名：	膀胱癌に対する膀胱温存療法の治療効果の後ろ向き検討
所属（診療科等）：	公立昭和病院（ 泌尿器科 ）
研究責任者（職名）：	塚本 哲郎 （部長）
研究代表者（所属）	（多機関共同研究の場合に記載）
試料・情報の提供責任者： 試料・情報の管理責任者：	公立昭和病院 院長 坂本 哲也
研究期間：	2026 年 9 月 1 日～2028 年 3 月 31 日
研究目的と意義：	筋層浸潤膀胱癌に対する標準治療は、膀胱全摘除ですが、膀胱全摘除は尿路変更を必要とし侵襲が大きいです。そのため状態により膀胱全摘除を行うことが難しい患者さんは少なくありません。代替として放射線治療を行うことがありますが、その治療成績は確立していません。本邦の高齢化の進展は著しいため、膀胱全摘除が必要なものの膀胱全摘除を行うことができない患者さんはますます増加しつつあります。進行膀胱癌に対する膀胱温存療法の確立が望まれています。本研究により膀胱全摘除の代替として放射線治療を受けた患者を対象に、後ろ向きに治療成績を検討することで、膀胱温存療法が安全に施行できる患者さんを探し、今後の診療に活かします。
研究内容：	●対象となる患者さん 当院において 2013 年以降に、筋層浸潤膀胱癌または BCG 治療抵抗性膀胱癌に対して放射線治療を受けた方 ●利用し、又は提供する試料・情報の項目 以下のカルテ情報 ・研究対象者背景 研究対象者識別コード、生年月、性別、既往歴、合併症、アレルギーの有無、PS(ECOG)、身長、体重、血圧、脈拍、体温等 ・画像診断 膀胱鏡検査画像、胸部腹部造影 CT、骨盤 MRI、腹部エコーなど ・臨床検査 血液学的検査（Hb, WBC 数及び分画）、血液生化学検査（Alb, Cre, CRP 等）、病理学的検査（組織診・尿細胞診）等 ●提供する試料・情報の取得方法 カルテ情報より情報を収集します ●試料・情報の利用目的及び利用方法（他機関へ提供する場合は、その方法を含む） 治療効果や副作用の発現率、再発の有無を解析する。とりまとめと解析は当院泌尿器科で行います。 ●利用する者の範囲（当該研究を実施する全ての共同研究機関の名称及び研究責任者の氏名） 公立昭和病院泌尿器科
問い合わせ先：	【研究担当者】（研究全般に関すること） 例 1. 研究計画や研究方法に関する資料の入手・閲覧に関すること

例 2. 試料・情報の利用又は多機関への提供を停止する旨に関すること

例 3. 研究により得られた結果等に関すること

氏名：上原 翔（泌尿器科）

住所：小平市花小金井 8 丁目 1 番 1 号

電話：042（461）0052（代表） FAX：042（464）7912

【ご意見・相談窓口】（研究・診療内容に関するものは除く）

総務課 042（461）0052 内線 2247

受付時間：月～金 9:00～17:00（祝・祭日を除く）